

第154
2015
7月発行 日本共産党神戸町委員会
連絡先 松永（七八三一）
鈴木（五九五四）
正岡（五九五七）

子や孫を再び戦場で死なせていいいのか！

平和壊す「戦争法案」の強行は絶対にするな

廃案へ日本共産党神戸南北支部と鈴木愛子議員全力！



神戸町の南北支部と鈴木愛子議員は、戦争法案に反対しましょうと今、各地域で訴え、チラシの配布等に全力をあげています。（6月20日町内にて）

戦後70年続いた平和な日本を守るのか、それとも「戦争に参加する日本」を許すのかの戦後最悪の戦争法案をめぐり重大な局面を迎えてます。

「戦争法案」は自衛隊の役割を大幅に拡大し、地球上どこでも海外派兵して米軍のあらゆる戦争に参加するものであることがハッキリしてきます。この法案が強行されれば日本が「人を殺し、殺される」とになるのです。また自民党議員らの会合で「マスクを懲らしめる」などの言論弾圧、沖縄侮辱問題も許せない事態となっています。

こうした法案に今、全国でも各層からも「必ず廃案へ」「慎重審議を」の大きな世論が広がっています。日本共産党は「戦争法案反対」の一点でのたたかいの共同の先頭に立って奮闘しています。



今年も平和行進が神戸町を歩きました
谷村町長、宮川議長らが激励のあいさつ

6月15日、今年も8月の原水爆禁止世界大会をめざす全国平和行進の掲

斐郡→神戸コースが午後3時30分多くの町職員の出迎えをうけて神戸町役場に到着。

鈴木議員が司会を務めた歓迎集会では谷村町長、宮川議長がそれぞれ核兵器のない平和な世界の重要性を訴え、参加者を激励しました。

この後参加者らは、役場からバラ公園まで行進し夕方大垣市のルートに合流しました。（写真は庁舎前にて）

『平和の問題でご意見や川柳をお寄せください。』

『あて先は神戸町北一色335-1 鈴木愛子まで』

FAX 078-595-4609 お願いします

自公政権は国民の声を聞け！

日本に再び戦争の歴史を刻むな！

①歴代の自民党政権すら

「集団的自衛権」行使はダメと言ってきたのに…なぜ？

戦後、「集団的自衛権」行使に対する歴代の自民党政権の公式見解は「憲法上許されない」という一貫した態度だったのに。まさに違憲。

②自民党政権は違憲判断

衆院憲法審査会で自民党推薦の長谷部氏ら参考人三人の憲法学者がそろって集団的自衛権行使は違憲だと明言。

③法案の廃案を求める憲法研究者の声明でも…

- 法案策定までの手続きが立憲主義、国民主権、議会制民主主義に反する
- 歯止めのない集団的自衛権行使につながり9条に違反する
- 地球のどこでも米軍等を支援し、一体的に戦争協力することになる

戦争法案は廃案しかない

いまこそ国民的共同をさらに広げよう！

人口減少対策、エアコン設置を要求

鈴木愛子議員が一般質問



「神戸町住宅改修助成制度」が実現 (リフォーム助成制度) 鈴木愛子議員の主張実る

この間鈴木議員が再三にわたり実現を求めてきた「住宅リフォーム助成制度」がこの7月から実施されます。

この制度は、高齢者や子育て世帯が住環境整備のために住宅改修工事を行う場合にその費用の一部を助成するものです。

【対象となる工事内容は・・・】

- ①耐震補強工事と併せて行う住宅改修工事
- ②バリアフリー化、断熱改修等、水洗化等の改修工事など。ほかにも対象工事あり。

【対象となる工事は・・・】

- ①工事費が50万円以上（工事種別の制限あり）
- ②申請年度の4月1日以降の契約で着工前の工事、かつ年度内に完成できる工事
(H27年度に限り7月1日以降の契約)

【改修助成金の額】

- ①対象となる工事費の20%で、上限が20万円
- ②町内の施行業者の場合は、助成金の額を一割加算（上限22万円）

●様々な条件があるので詳しくは

神戸町役場・建設産業課・都市計画係まで
電話27-3111（内線234）

改選後初の神戸町議会6月定例会が6月18日閉会しました。

今議会では、これまで再三鈴木議員が提言してきた「住宅リフォーム助成制度」が実現し400万円が予算化されました。17日一般質問に立った鈴木議員は、①人口減少問題をどう総括しているか、②人口増には住環境整備への土地利用、③住民アンケートの重要性について室へのエアコンの設置の二点について町の見解を求めました。

町の今後5年～10年のまちづくりの基本計画となる「五次総」の策定準備が始まっています。

鈴木議員は、質問の第一点として、①人口減少の事態をどう総括しているか、②人口増には住環境整備への土地利用、③住民アンケートの重要性について見解を求めました。

これに対し谷村町長は、「四次総」で想定した人口より700人余少ないのは、この間の急激な少子化による自然減と転出増によるものとの要因を説明。今後の人口の展望は、「神戸町人口ビジョン及び地方版総合戦略」の策定の中で検討していくと答弁。

さらに「住民アンケート調査」については、この程

「五次総」には住民の声の反映を

人口増には雇用拡大や若者流入が必要

高校生以上の町民2000人を対象に実施したところであり、「新たな五次総」にも反映していきたいと答弁しました。

小中学校にエアコンの設置を

鈴木議員は第二点として、最近近隣市町でも設置が進んでいる小中学校へのエアコンの設置についてぜひ当町でも整備を急ぐべきだと提案しました。

これに対し町長は、町内の全学校の普通教室は60室あるが、多額の費用や設置後の電気代など大きな課題となるとし、今後国庫補助、財源の状況を見ながら検討していきたいと答えました。

養老鉄道の存続求めて 町議会が国・県への意見書を採択

今町議会では、地域公共交通（養老鉄道など）の存続を求めて、国と県が安定的な地方財源措置及び支援策を講ずることを要望する意見書を全会一致で採択しました。

現在沿線3市4町で運行維持のために財政支援を行っているが、意見書では「財政支援を取りやめれば、地域社会の疲弊、若年層の流出などが加速し、自治体の目指す地方創生にも大きく影響することとなる」として国・県へ支援を求めたものです。

また町は、このほど町議会にも「養老鉄道存続特別委員会」を立ち上げ、養老鉄道の存続へ役割を果たそ

